


# 平成28年度皇學館おかげキャンパスプロジェクト報告書

教員名：櫻井 治男


分野：歴史 伝統文化・異文化、こども・子育て・教育・生涯、健康・福祉、地域づくり・公共・環境、人材育成等の活動、連携協定に基づく事業（ ）、その他（ ）

項目名	内 容
計画名	『伊勢志摩百物語～不思議な巖と石の世界～』編集・刊行
実施期間	平成28年 4月 1日（金） ～ 平成 29年 2月 28日（火）
活動の目的と計画	【目的】本プロジェクトは、平成27年度に本学学生が中心となり、伊勢志摩地域の名所・旧跡・文化資産・自然資産を取り上げ、その魅力を明らかにし、広く発信することを目的として結成したものである。2か年を活動期間とし、平成27年度には皇學館おかげキャンパスプロジェクトの助成を得て、『伊勢志摩百物語～麗しき島々～』とタイトルを付した冊子（700部）を刊行した。本年度はその続編として、当該地域の著名な岩、忘れられた岩、これから知ってほしい岩を取り上げ、子どもから大人まで、また個人・家族が本冊子を携え、地域探訪を行う上での情報冊子の編集・刊行を計画している。作成作業を通して、特に本学学生が地域へでかけ、地域を発見し、その成果をアウトプットすることで、大学と地域との関係づくりにかかわる契機となることを期待するものである。学年進行に伴い、新たなメンバーを加えて実施にあたりたい。
活動内容 と 実績・成果	<p><b>活動内容</b></p> <p>①勉強会の開催（伊勢志摩地域の岩に関する情報収集、調査対象の選定、原稿執筆の打合せ、作成原稿の読み合わせを実施）                  ②現地調査と会員による地域探訪（個人、グループでの調査を実施）                  ③小冊子の刊行（伊勢文化舎の協力により2000部印刷）                  ④おかげキャンパスプロジェクトの広報活動（伊勢市内おかげ横丁でのパネル展、マスコミ報道への発信）</p> <p><b>実績・成果</b></p> <p>①『伊勢志摩百物語～磐座の聖地めぐり～』を編集し刊行（2000部）した。配布先については、昨年度同様に、伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町の各高校・中学校・小学校、国立国会図書館・県内図書館及び希望者へ無料配布を行っている。                  ②おかげキャンパスプロジェクト活動を知ってもらうべく、オープン・キャンパスをはじめ神社関係、法人関係への配布を予定している。</p>
参加者	申請者も含めて、氏名、所属（部局、職名）を明記してください。 櫻井治男（神道学科特別教授）、板井正斉（教育開発センター准教授）／中野裕介（大学院神道学専攻2年）、足立涼（神道学科4年）、佐伯篤史（同）、佐伯枝理子（同）、新田恵三（同）、工藤超（国文学科4年）、喜多野瞭（神道学科3年）、澄川秀範（同）、山内響貴（神道学科2年）、河原正知（神道学科1年）／学外協力者：中村賢一（伊勢文化舎代表）・窪寺恭秀（神宮文庫）・千種清美（文筆家）
今後の活動	『伊勢志摩百物語～奇樹・銘木めぐり～』（仮題）の編集・刊行。
記録	 

# 平成28年度皇學館おかげキャンパスプロジェクト報告書

教員名： 中松 豊

分野： 歴史・伝統文化・異文化、こども・子育て・**教育**・生涯、健康・福祉、地域づくり・公共・環境、人材育成等の活動、連携協定に基づく事業（ ）、その他（ ）

項目名	内 容
計画名	三重県内の小学校における理科の出前講座
実施期間	平成28年4月11日（月）～平成29年1月31日（火）
活動の目的と計画	<p>（目的と計画）</p> <p>以下の日程による出前講座を通して、伊勢市以外の三重県内の教育活動に貢献することを目的とする。</p> <p>7月7日（木） 明和町立上御糸小学校3年生（2クラス）            11月25日（金） 鈴鹿市立郡山小学校6年生（2クラス）            11月18日（金） 津田学園小学校1年生（2クラス）</p>
活動内容 と 実績・成果	<p><b>活動内容</b></p> <p>・三重県小学校出前講座：学生が以下の小学校に出向き、大学で飼育している昆虫を使って、出前講座を行った。各学校へはメインスピーカー1名、各班のアシスタント6名+αの合計7+α名構成で行い、1年生は生活科において、野外観察で注意する生物の紹介や昆虫とその他の動物の区別について学び、3年生は理科において「チョウを育てよう」「昆虫を調べよう」、6年生も理科において「食物連鎖」の単元内容に沿って1クラス90分で実験・観察を行い、通常授業の内容補完と発展的な内容を学んだ。</p> <p><b>実績・成果</b></p> <p>今回の出前授業のアンケート結果を見ると、すべての項目において受講前後で昆虫や理科に興味を持つ児童が増えたという伊勢市内で行われた出前講座と同様の結果が得られた。学生も授業の機会が増え、現場における経験が増え、子ども達への指導力も向上したものと考えられる。また、現場の小学校教員においても、教室での理科実験の実施について、大学や研究機関へのアプローチが困難な中で、今回の取り組みは、その活路が見出されたものと考えられ、どの学校においてもまた行ってもらいたい旨の連絡をいただいた。</p>
参加者	<p>申請者も含めて、氏名、所属（部局、職名）を明記してください。</p> <p>中松豊(教育学部、教授)、松谷広志(教育学部大学院1年生)、藤田隼(研究生)、井上健人、佐々木聖也、武川菜緒里、中村生希、藤見純也、(教育学部4年生)、大西瑠奈、奥村雄暉、河俣美希、北山紗希、西村幸奈、秦美咲、山本美沙希(教育学部3年生)</p>
今後の活動	<p>アンケート結果や現場の教員の声から判断すると、ある一定の評価を得られたと考えられることから、出前講座を継続的にを行い、理科教育の実践をおこなっていきたいと考えている。ただ伊勢市外の学校で行うにあたって、学生の移動費などの資金が必要になってくるため、財源を確保することが今後の課題となる。</p>
記録	

# 平成28年度皇學館おかげキャンパスプロジェクト報告書

教員名： 岡野 裕行

分野： 歴史・伝統文化・異文化、こども・子育て・教育・生涯、健康・福祉、地域づくり・公共・環境、人材育成等の活動、連携協定に基づく事業（ ）、その他（ ）

項目名	内 容
計画名	ウィキペディアタウン伊勢
実施期間	平成28年9月17日（土）
活動の目的と計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●昨今のまちづくりや公共図書館における地域文化資源の積極的な活用方法として注目されているウィキペディアタウンを、伊勢市を舞台に本学の学生が開催する。</li> <li>●ウィキペディア日本語版管理者の日下九八氏を、実施アドバイザーとして伊勢にお招きする。</li> <li>●伊勢市や伊勢市立図書館、伊勢河崎商人館などにも連携・協力を依頼することで、信頼できる豊富な資料にあたる体制をつくる。</li> </ul>
活動内容 と 実績・成果	<p><b>活動内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●伊勢の文化に関する項目のうち、ウィキペディアの記事として掲載するにふさわしいと考えられるものを、参加者同士で検討する。</li> <li>●市内のまちあるきを行い、ウィキペディアに掲載するための実地調査と写真撮影を行う。</li> <li>●伊勢市立伊勢図書館「ふるさと文庫」のご協力のもとに、伊勢に関する情報を文献に基づいて調べ上げ、ウィキペディアの更新作業を行う。</li> </ul> <p><b>実績・成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今回のウィキペディアタウン伊勢では、「伊勢河崎商人館」「伊勢うどん」「伊勢春慶」「萬金丹」「伊勢市立図書館」の5項目の更新作業を行うことになった。</li> <li>●まちあるきをするなかで、ウィキペディア掲載用の資料集めと写真撮影を実施した。</li> <li>●伊勢市立図書館の公式ウェブサイトにも活動報告が掲載された。 <a href="http://iselib.city.ise.mie.jp/gyoji_pdf/ise/ise2016.9.17.pdf">http://iselib.city.ise.mie.jp/gyoji_pdf/ise/ise2016.9.17.pdf</a></li> <li>●今回のウィキペディアタウンで編集した項目は、その後も各地のウィキペディアンによって編集が進められており、ますます充実した記事として洗練されている。</li> <li>●平成29年2月現在、ウィキペディアタウンは日本全国で83回の開催事例が確認できる萌芽的活動だが、伊勢での開催は全国的に見ても61番目と比較的早い事例である。三重県内では初めて、東海地域でも豊橋市に次ぐ2番目という段階で実施している。今回の伊勢での活動は、この地域における先進事例に位置づけることができる。</li> <li>●今回の取り組みは、平成28年11月10日に開催された図書館総合展「第1回全国学生協働サミット」でも報告を行った。全国的にも大学生が主体となって開催するウィキペディアタウンは珍しいため、本学の取り組みは会場で大きな話題となった。 <a href="https://www.libraryfair.jp/schedule/5147">https://www.libraryfair.jp/schedule/5147</a> <a href="http://www.kogakkan-u.ac.jp/files/md3846_1.pdf">http://www.kogakkan-u.ac.jp/files/md3846_1.pdf</a></li> </ul>
参加者	<p>申請者も含めて、氏名、所属（部局、職名）を明記してください。</p> <p>①岡野 裕行（国文学科准教授） ②日下 九八（ウィキペディア日本語版管理者／学外メンバー）          ③家垣 志帆（国文学科4年） ④島田なつみ（国文学科3年） ⑤館 真奈美（国文学科3年）          ⑥坪井 あみ（国文学科3年） ⑦日置 綾望（国文学科3年） ⑧藤田佳保里（国文学科2年）          ⑨前田 有美（コミュニケーション学科3年） ⑩三木 彩花（国文学科1年）          ⑪その他（皇學館大学附属図書館・伊勢市立図書館・伊勢河崎商人館の関係者）</p>
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三重県内でのほかの自治体でも、公共図書館の地域文化活動の一環として実施したいという声が寄せられており、本学の取り組みに期待が寄せられている。</li> <li>●地元の伊勢市内での継続的な活動はもとより、次年度以降は別のまちでの開催にもつなげたい。</li> </ul>
記録	